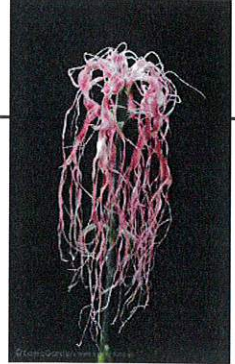


まつさかなでしこ  
令和5年度 **松阪撫子展** **ご案内**

主催 松阪三珍花保存会 後援 松阪市

- **とき** 令和5年5月19日(金)～23日(火) 午前9時～午後4時  
(23日は午前12時まで)
- **ところ** 松阪市本町 豪商ポケットパーク



**松阪三珍花保存会有志による「松阪撫子展示」**

- **とき** 令和5年5月24日(水)～31日(水) 午前9時～午後4時
  - **ところ**  
① 松阪撫子発祥地(松阪市殿町1257 山田大路宅)  
② 本居宣長記念館 ③ 歴史民俗資料館 ④ 原田二郎旧宅 ⑤ 松阪市幸公民館
- ※展示場所により、日程および時間が異なる場合があります

<お願い>

新型コロナウイルス感染防止のためご来場いただく際にはマスクの着用、間隔をあけてお楽しみください。

<お問い合わせ> ・松阪市幸公民館

〒515-0073 松阪市殿町1198-2 Tel 0598 23-9549

まつさかなでしこ  
**松阪撫子(Matsusaka Dianthus)**

松阪撫子は一般には伊勢撫子(イセナデシコ)と呼ばれています。

松阪撫子を初めて作出したのは1803年(享和3年)頃、約200年前に松坂(松阪)殿町に住んでいた紀州藩士の継松栄二が河原撫子(大和ナデシコ)を栽培していたところ、偶然にも花弁が、深く切れて縮れ垂れ下がった花を見つけ、その後実生により改良を加えた結果、今の品種を作出したと伝えられています。

光格天皇(上皇)は伊勢から有栖川宮家を経て献上された本種をことのほか好み、皇女が京都宝鏡寺に落飾する際御下賜され、その後宝鏡寺で「御所撫子」として栽培・保存が続けられていました。

松阪撫子は四季咲き性ですが保存会では、9月中旬頃種を播き、5月咲きとしています。花弁の性質には「花弁の肩が張って垂れる」「花弁の肩が張らずに垂れる」などがありますが、何れも垂れさがり長いものほど良いとして保存してきました。

花色は白・濃淡ピンク・藤・紅など多彩で、ぼかしや絞り模様なども出てきます。

仕立て方は3本仕立て(天・地・人作り)とし1本に5花で計15花を基本としています。